

学校だより

おつひ

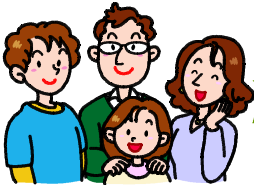
半田市立乙川東小学校

第2号

令和5年4月25日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



地域と家庭と学校の連携



乙川東小学校が「コミュニティ・スクール」としてスタートして4年たちました。コミュニティ・スクールとは、地域と家庭と学校が連携して子どもたちを育てる学校です。そのために、学校の教育方針について、地域や家庭から意見をいただいたり、理解していただいたりする必要があります。この学校だより「おつひ」もそのためのツールです。1か月1度をめやすに、学校の様子や大切にしている考え方を発信していきます。ご意見等ありましたら、お電話でも結構ですのでぜひお寄せください。

21日（金）には、本年度の学校教育方針について、直にお伝えしてご意見を伺う「学校運営協議会」が開かれました。本年度から、学校公開日に開催することにして、授業を参観していただきました。また、学校運営協議会後には、実際学校への様々な支援をして下さっている「地域ふれあい推進協議会」も開かれました。この2つの会は、乙川東小になくはない会です。組織等については次頁をみてください。

また、同日、PTA総会も紙面にて開かれました。各家庭には、tetoru配信にて資料が配信されました。その中で、校長あいさつとして学校教育目標について書きましたので、保護者の皆さんはぜひご一読ください。ここに、一部抜粋します。

学校経営の方針は、昨年に引き続き、①自己存在感を高める②共感的人間関係を育む③自己決定する場をつくる の3本柱です。

3年以上にも及ぶコロナ禍を経験し、先の見えない不安を経験し、この先何が起こるか分からない中で、「自分に自信をもち、社会の中で互いに助け高め合い、自分で考えたことに向かって行動する力をつけさせたい」と益々考えるようになりました。そのための方策として、昨年度は「学習や行事後の振り返り活動」「互いの意見を交換し合う場面を入れた授業」「自分で課題を見つけて行う学習活動」を展開してきました。本年度は、そこに「一人一人が手応えを感じられる学習＝個別最適な学習」を加え、すべて皆いっしょではなく、一人一人が自分の成長のために選択できる教育活動を行っていきます。

本年度から、PTAも組織や運営がかわり、できるときにできる人が子どもたちのために活動する組織になりました。これからの社会をつくっていく子どもたちの育ちを地域と家庭と学校みんなで見守っていきたいと思います。



コミュニティ・スクールおつひ



＜学校運営協議会＞ 定例会：年3回

会長：前年度PTA会長 副会長：今年度PTA会長 書記：今年度PTA副会長

顧問：前年度区長代表

各区長5名 民生児童委員 コーディネーター 校長 教頭

*** 学校運営基本方針の承認 教育活動への提言**

＜事務局＞教頭 コーディネーター

＜地域ふれあい推進協議会＞ 定例会：年2回

PTA役員会 老人会 区長会 こども会 おつひサポーター

伝統芸能の伝承者 稲作体験の学校支援者

*** 学校教育活動への支援 地域と学校とのふれあい行事**

地域ふれあい推進協議会の活動の一部です。



5年稲作支援



水やり支援



おはなし会サポーター



環境サポーター



読書サポーター



1年生昔の遊びをいっしょに

* 学期に1回、地域ふれあい推進協議会の活動を紹介する広報紙を発行しています。